

環境学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同
SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会
第24期・第1回会議議事録

- 日 時：2018年2月19日（月）15:00～17:00
- 会 場：日本学術会議6階 6-A(1)会議室
- 出席者：中村 崇・所 千晴・安達 毅・伊藤公久・大和田秀二・岡部 徹・月橋文孝・
林 幸・森田一樹
- 欠席者：河野佳織・齊藤公児・笹木圭子・平尾雅彦・森口祐一
- 配布資料：資料1 分科会委員名簿
資料2 特任連携会員申請案
資料3 シンポジウム開催案
資料4 過去の提言と報告

■議 題

1. 今期の活動方針

(1) 以下の執行部体制（敬称略）が了承された。

委員長：中村 崇

副委員長：所 千晴

幹事：安達 毅・岡部 徹

(2) 活動方針

数回のシンポジウム開催と記録/報告の提出を今期の活動内容とすることが了承された。

2. 特任連携会員の推薦

東京大学の村上進亮准教授を特任連携会員として推薦することが了承された。

3. その他

(1) 第1回シンポジウム開催案について

所副委員長より、休廃止鉱山環境対策に関するシンポジウム開催案が提案された。

休廃止鉱山環境対策に限らず、エコリユックサックやリスクコミュニケーションなど、幅広い概念を取りいれてシンポジウムを構成するように意見があった。また、タイトルも一般公開を意識したわかりやすいものに再考するように意見があった。

今年夏に開催することが了承され、今後の承認作業はメールにて進めることになった。

(2) 第2回シンポジウム開催案について

中村委員長より、来年秋に幅広いサプライチェーンを対象とした資源循環に関するシンポジウムを構想していることが紹介された。シンポジウムの準備をすすめることが了承された。

(3) 今年度の分科会開催について

分科会は年3回開催することとし、次回は夏、次々回は冬に開催することが了承された。

以上